

緊急営農情報

平成30年7月29日
いなば農業技術者協議会
○事務局【JAいなば営農生産課】
小矢部市赤倉97 TEL67-8000
【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
○高岡農林振興センター 26-8480

- ①斑点米カメムシ類の適期・的確な防除の実施
- ②稲体の活力維持の為の適切な水管理の実施

①斑点米カメムシ類の防除

水稻の生育は、平年より3～4日早まわっています。

また、斑点米の発生要因となるカメムシ類も多く確認されています。
必ず**適期の2回防除**を行いましょう。

- 1回目防除時期：穂揃期
- 2回目防除時期：傾穂期

薬剤は**本田及び畦畔に**
しっかりかかるように散布

※粒剤は、出穂5～7日前までに遅れずに散布しましょう。

②適切な水管理

7月23日富山地方気象台より、「高温に関する異常天候早期警戒情報」が出されるなど、**8月までの気温は高くなる**と予想されています。

高温時に水稻のために出来ることは、水管理しかありません。水管理を徹底し、稲体の活力維持に努めましょう。

○出穂までの管理：**飽水管理**

間断かん水よりも落水期間を短くし、落水時には溝に水が残る程度のヒタヒタ水状態を保ちましょう。



溝に水が残る飽水管理

○出穂後の管理：**出穂後20日間は湛水管理**

水を切らさない。ただし、ためっぱなしにせず、冷たい水をこまめに入水しましょう。

<水管理の注意点>

- ①下流域まで十分に水が行き渡るようかけ流しを止め、地域での計画的な用水の利用に努めましょう。
- ②水稻に限らず、大豆やハトムギも適宜かん水を行いましょう。